

令和5年度 事業報告

令和5年度は、3年間続いた新型コロナウイルスの影響も小さくなり、4年ぶりの夏祭りをはじめ多くの行事が開催でき、地域の活気が戻ってきたと感じています。

また、地域活動の拠点である連合町内会館は築40年以上が経過し、施設の老朽化と使い勝手の悪さが目立ってきていたため、昨年度策定した長期修繕計画に基づいて「子や孫の世代まで会館を残す」を合言葉に大規模修繕工事を実施しました。

一方、住民の高齢化が進むとともに女性の社会進出もあり、町内会や子ども会などの活動の担い手が減少してきているため、連合町内会に新たに「子ども活動・行事支援部」と「防災部」を新設し、専門的なノウハウを持つメンバーと関係団体の連携強化によって子どもの行事の活性化と防災活動の強化を図りました。

また、高齢化に伴い空家が増加するとともに日常の買い物に困る住民も増えています。そのため、高齢者がいつまでも安心して暮らせるとともに若い世代が住みたくなる街づくりのために、空家の流通促進と買い物事情改善の対策を始めました。

1 ニュータウン地域の交流・ふるさとづくり事業

- ① 第47回夏祭り（7月29日）を4年ぶりに開催、1日開催としたこともあり約3000人が来場、中沢小の校庭が人で埋まりました。
- ② 第45回運動会（10月14日）は中沢小運動会と同じ週の開催は負担が大きいということで、翌年5月開催に変更しました。
- ③ 第38回マラソン大会（11月25日）をあきにれ公園スタート・ゴールで前年に引き続き開催、前年を上回る180人のランナーが参加しました。
- ④ 賀詞交歓会を4年ぶりに町内会館で開催、久しぶりとあって多く住民、学校、行政、議員の方々の参加で交流を深めました。

夏祭り 人出で埋まる



マラソン大会 子どもたちのスタート

2 青少年育成事業

- ① 新成人へのお祝い品贈呈 95名
- ② 新生児へのお祝い金贈呈 19名
- ③ 学校・家庭・地域連携事業への参加
子どもたちの健全な成長を学校・家庭・地域で連携して支えていくため、子どもたちの地域活動参加や部活動を支援しました。
- ④ スクールゾーン対策協議会への参加
子どもたちの安全な通学路の確保のため、道路標示、カーブミラーなどの改善要望を警察署と土木事務所に提出しました。
- ⑤ 中沢小サポート基金・旭中サポート基金への参加
学校の運営や子どもたちの部活動を支援するため、基金の運営に参加しました。

⑥ 子ども会活動の支援

11 町内会のうち 3 町内会で子ども会が解散するなど、子ども会の活動が衰退する中、「子ども活動・行事支援部」を新設して各町内会の活動を支援。これにより、夏祭りの子どもお神輿が 10 町内会で実施できたほか、さつまいも掘り（約 100 名）、卒業旅行（約 30 名）などに子ども会がない町内の子どもたちも参加できました。

北一の子どもお神輿



さつまいも掘り



⑦ 旭中・中沢小学校ボランティア（CSC）活動の支援

旭中と中沢小は地域住民の方の専門知識と技術、経験を活かして特色ある授業や課外活動を行い、子どもたちの幅広い成長と地域への愛着を育んでいこうという目的で学校ボランティア制度（CSC クラブ）を立ち上げました。連合町内会は広報紙や回覧、ホームページなどにより制度の PR に協力しました。

⑧ 中沢小の子どもたちの自主活動の支援

4 年 3 組企画の住民にニュータウンの街の魅力を再発見してもらうことを目的とした「なかざわけんきスタンプラリー」と、4 年 4 組企画のイチョウ並木の素晴らしさを住民に強く訴えた「めざせ！安全で住みやすい中沢のまち」の活動を企画・PR 面などで支援しました。

3 地域福祉事業

① 敬老のつどい（9 月 30 日）を地区社協と共催で前年度に引き続き開催、前年度を上回る 200 人以上の方が参加され、中沢小児童の合唱、旭中生徒の演奏、落語、ビンゴゲームで大いに楽しみました。

敬老のつどい



② 敬老お祝い品の贈呈（9 月 15 日） 80 歳以上 1054 名

③ 地域による見守り活動の強化

高齢者や障がい者、子育て世代の地域の身近な相談相手の民生委員・児童委員の欠員 5 名の補充対策を進めてきましたが、今年度は結果を出すことができませんでした。市へ資格要件の見直しを要望するとともに連合町内会としても引き続き対策を実施していきます。

④ 買い物事情の改善

高齢化が急激に進展するとともに今宿 2 丁目や中沢 3 丁目の店舗が近年閉店したこともあり、住民の買い物事情が一層悪化しています。そこで、令和 5 年 7 月からあきにれ公園近くの民間駐車場に移動スーパーを誘致するとともに、コンビニの誘致活動を始めました。



移動スーパー

⑤ 神奈川県よこはま看護専門学校との相互交流の推進

看護専門学校とは、学生が福祉まつりへの出店とカレーライス販売支援、かがやきクラブが学校祭「やまゆり祭」への運営支援、授業への講師派遣など、相互交流を進めました。

4 防災防犯事業

① 防災部の立ち上げ

連合町内会、各町内会、2 つの地域防災拠点、地区社協、その他の関係団体による

「防災部」を立ち上げ、地域挙げての組織横断的・継続的な防災活動を展開する体制を構築し、住民の自助活動と町内会と地域防災拠点の共助活動の強化を図りました。3月には能登半島地震の被害状況を踏まえた「ニュータウンだより第8号」と「号外 大地震への備え」を発行しました。

② 共助の推進

住民によって被災後の安否確認を迅速に行うための「黄色い旗による安否確認訓練」を11月に実施、旭中の1年生も参加して一緒に町内を回りました。



黄色い旗による安否確認訓練

③ 防犯カメラの増設

地域の防犯力を高めるために各町内会に防犯カメラの設置を推奨、今年度は新たに北部第一町内会でも防犯カメラの設置が進みました。

④ 防犯パトロールの実施

11町内会で12月2日に一斉パトロールを実施したほか、各町内会で年間を通して防犯パトロールを実施しました。

5 環境整備事業

① 資源ごみ集団回収の推進

資源ごみ集団回収を各町内会・子ども会で実施、SDG'sに貢献するとともに、自主財源の確保に寄与しました。(今年度は約140万円)

② 空家の流通促進

高齢化の進展によりニュータウン全体で100戸以上の空家があり、環境や防犯などの面だけでなく、まちの活気の面でも大きな問題となってきています。そこで、1月から旭区役所・三井住友信託銀行と連携して空家流通促進策を始めました。

③ 並木道の維持

ニュータウンの魅力の一つである並木の落葉清掃を担う「並木愛護会」の活動を支援しました。

6 その他

① 連合町内会館の大規模改修工事の実施

築40年以上が経過したことにより、会館の老朽化対策と高齢者など誰もが使いやすい会館とするために屋上の防水工事、外壁塗装工事、スロープ設置工事、トイレの多目的化工事、正面階段への手すり設置工事などを実施しました。



改修前の会館正面

② 連合町内会館の予約方法・料金体系の抜本的な見直し

利用者サービス改善のために会館の予約方法を大幅に簡素化(毎月予約から6か月間予約、ホームページで空き情報提供、メールでの申込可)しました。また、将来の会館整備の財源を確保していくために施設利用を有料化しました。



改修後の会館正面

③ 広報の充実

長年の課題であった連合町内会と地区社協合同発行による

「ニュータウンだより」も2年目に入り、内容の充実を図るとともに年4回発行にこだわらず、増刊号の発行も行いました(第7号)。

また、連合町内会のホームページも随時更新を行い、アクセスが前年度に比べて倍増しました。

